



ヒューマンインタフェースシンポジウム 2017 2017年9月4日(月)～9月7日(木) 大阪工業大学 梅田キャンパス



共感する、かたちにする

スマートフォンに代表される人の生活を大きく変えるような機器やインタフェースを創り出すにはどうすればよいのでしょうか。ユーザの声をきく(アンケートやヒアリング)だけでは、隠れた(ユーザも気づいていない)ニーズを見つけることはできません。まったく新しいものを創るには、ユーザが実際に生活したり働いたりしている場でユーザの観察をして、ユーザの気持ちに寄り添い、共感するところからスタートする必要があります。そこで、隠れたニーズや問題点を見つけ出し、その解決のためのアイデアを出して、モノであっても、サービスであっても、とにかく早く、ひとに見える・伝わる「かたちにする」、かたちにしたものをユーザに見せて使ってもらい、反応を観察して問題点を抽出して…というループを何度も回す。こういうプロセス(デザイン思考の手法)を経ることで、日本発、願わくはヒューマンインタフェース学会発の画期的なモノやサービスが生まれてほしいという思いで、このテーマを設定しました。「観察する」には、目で見て空気を感じるということが基本ですが、それだけでなく、目に見えないものを各種センサで計測するということも含めて考えています。IoT時代、取得できるデータは大量にあります。ここから意味のある情報を抽出しモデル化する手法がますます重要になります。

特別講演は、合原一幸氏(東京大学・生産技術研究所)と田村大氏(株式会社リ・パブリック)をお願いします。講習会では「ひとを測る」ことに関連したテーマを取り上げます。デザイン思考を体験するワークショップも企画します。他にも企業と研究者、学生との出会いの場を設定する予定です。

開催場所は大阪梅田駅前の大阪工業大学の新しいキャンパスです。茶屋町の活気のある場所にあります。交通の便もよく、建物はタワー1つだけですので会場間の移動は簡単です。懇親会は21階の展望レストランで開催する予定です。都市型キャンパスでの学会をお楽しみいただければと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

大会長 大須賀 美恵子(大阪工業大学)

■主催：特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会

■共催：大阪工業大学

■協賛学会

ウェアラブル環境情報ネット推進機構、映像情報メディア学会、横断型基幹科学技術研究団体連合、応用物理学会、教育システム情報学会、計測自動制御学会、システム制御情報学会、自動車技術会、情報処理学会、照明学会、人工知能学会、シンビオ社会研究会、精密工学会、電気学会、電子情報通信学会、日本VR医学会、日本応用数理学会、日本顔学会、日本化学会、日本感性工学会、日本機械学会、日本原子力学会、日本建築学会、日本航空宇宙学会、日本色彩学会、日本手話学会、日本神経回路学会、日本生活支援工学会、日本生体医工学学会、日本ソフトウェア科学会、日本知能情報ファジィ学会、日本デザイン学会、日本人間工学会、日本バーチャルリアリティ学会、日本保全学会、日本リハビリテーション医学会、日本リハビリテーション工学協会、人間中心設計推進機構、バイオメカニズム学会、モバイル学会



9/4
 受付開始・開場 12:00
 13:00 ~ 15:00

■日程表

1005 教室

講習会 1

1104 教室

講習会 2

1006 教室

講習会 3

1007 教室

講習会 4

15:15 ~ 17:15

1005 教室

1104 教室

1006 教室

ロボティクス & デザインセンター (8 階)

17:30 ~ 19:00

ワークショップ 1

ワークショップ 2

ワークショップ 3

ワークショップ 4

ワークショップ 5

ワークショップ 6

9/5
 受付開始・開場 8:30
 9:30 ~ 10:50

A 会場

(1104 教室)

B 会場

(1005 教室)

C 会場

(1006 教室)

D 会場

(1007 教室)

11:20 ~ 12:40

5A1 芸術・エンタテインメント

5B1 協調作業支援

5C1 インタフェースデザイン 1

5D1 安心・安全

13:40 ~ 15:00

5A2 インタフェースデザイン 2

5B2 看護・リハビリ

5C2 知覚・認知 1

5D2 感性・情動

5Td, 5Tp 対話発表 (会場: イノベーションラボ (9 階))

15:20 ~ 17:00

5A3 VR・AR・3D

5B3 学習・教育支援

5C3 福祉・障がい者支援・高齢者支援 1

5D3 交通・運転者支援

9/6
 受付開始・開場 8:00
 9:00 ~ 10:20

6A1 インタフェースデザイン 3

6B1 身体的インタラクション

6C1 知覚・認知 2

6D1 生理・心理

10:35 ~ 12:15

6A2 コミュニケーション支援 1

6B2 ユーザ行動・ユーザモデル

6C2 デザイン一般

6D2 福祉・障がい者支援・高齢者支援 2

13:30 ~ 14:50

6Td, 6Tp 対話発表 (会場: イノベーションラボ (9 階))

15:10 ~ 16:10

特別講演 1 (会場: 常翔ホール (3 階))

16:20 ~ 17:20

特別講演 2 (会場: 常翔ホール (3 階))

17:20 ~ 17:35

企業展示アピールタイム (会場: 常翔ホール (3 階))

18:00 ~ 20:00

イブニングセッション (会場: レストランテ翔 21 (21 階))

9/7
 受付開始・開場 8:30
 9:00 ~ 10:40

7A1 福祉・障がい者支援・高齢者支援 3

7B1 社会・生活インタフェース

7C1 コミュニケーション支援 2

7D1 ロボットエージェント

10:55 ~ 12:35

7A2 コミュニケーション支援 3

7B2 ユーザビリティ・UD

7C2 知覚・認知 3

7D2 モバイル・ウェアラブル

12:50 ~ 13:20

クロージングセッション (会場: A 会場 1104 教室)



● 9月4日(月)

■講習会

コース 1 (13:00 ~ 15:00)

「生体計測実践

～HIのための脳波、心電図、皮膚電気活動(EDA)、視線計測の勘所～」

コース 2 (13:00 ~ 15:00)

「いまさら聞けないモーションキャプチャ基礎」

コース 3 (13:00 ~ 15:00)

「心理学的測定法の基礎」

コース 4 (15:15 ~ 17:15)

「MATLABの講習会～機械学習によるまばたきのリアルタイム認識～」

■コース 1

「生体計測実践

～HIのための脳波、心電図、皮膚電気活動(EDA)、視線計測の勘所～」

(13:00 ~ 15:00 1005 教室)

ヒューマンインタフェース研究の基礎となる人間の生理状態の計測として、脳波、心電図、皮膚電気活動(EDA)、視線の計測を取り上げ、計測の手法ならびに計測において注意しなければならない点などの勘所について実演、解説を行う。また生体電気信号の計測においては Know How だけでなく日常の実験に応用して役立てることのできる情報として Know Why を説明する。生体計測が初めての方、またすでに生体計測に取り組んでいるがより良い計測を目指す方の参加を歓迎する。

オーガナイザ：萩原 啓 (立命館大学 情報理工学部 情報理工学科 知能情報コース)

略 歴：1977年大阪大学基礎工学部生物工学科卒業。同年松下電工株式会社入社。電器 R&D センター健康科学研究所主幹研究員を経て、2003年立命館大学へ。現在、立命館大学情報理工学部情報理工学科知能情報コース教授。博士(医学)。生体情報計測評価技術、特に睡眠・覚醒・生体リズムの研究に従事。ヒューマンインタフェース学会、日本生体医工学会、日本人間工学会、計測自動制御学会、モバイル学会などに所属。

専門分野：生体生理工学、人間工学

講師：金子 秀樹 (ニホンサンテック株式会社 代表取締役社長)

<http://www.santeku-map.com/>

講師：木暮 賢人 (株式会社ナックイメージテクノロジー 営業本部 営業技術)

<https://www.nacinc.jp/>



■コース2

「いまさら聞けないモーションキャプチャ基礎」

(13:00 ~ 15:00 1104 教室)

低価格化により導入が容易になりつつあるモーションキャプチャシステムの基礎的な解説を行う。数種の実 (PERCEPTION NEURON, Microsoft Kinect v2, Leapmotion を使用予定)、実演を通して各種キャプチャ環境の特徴、得手不得手などに触れる。また、取得したキャプチャデータに関するデータフォーマットなどの簡単な解説も行う予定である。

オーガナイザ：赤井 愛

(大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部 空間デザイン学科)

略 歴：筑波大学芸術専門学群卒業。1998年同大学院デザイン研究科修了。松下電工株式会社(現パナソニック株式会社)デザイン部電情建デザイン開発センターを経て、2009年より現職。

専門分野：プロダクトデザイン、子どものためのデザイン、視覚障がい者(児)のためのデザイン

講師：中泉 文孝 (大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部 ロボット工学科)

略 歴：1998年筑波大学第三学群工学システム学類卒業、2003年筑波大学大学院工学研究科知能機能工学専攻修了。2005年株式会社国際電気通信基礎技術研究所メディア情報科学研究科非常勤研究員。2006年大阪工業大学工学部生体医工学科講師、2010年大阪工業大学工学部ロボット工学科講師、2017年大阪工業大学ロボティクス&デザイン工学部ロボット工学科講師。現在に至る。博士(工学)。

専門分野：人工現実感

■コース3

「心理学的測定法の基礎」

(13:00 ~ 15:00 1006 教室)

心理学領域で用いられている。「こころ」を測る方法について解説する。ヒトの感覚・知覚特性を評価するための心理物理学的測定法、そして、認知処理に要する時間や認知処理能力を評価するための反応時間や正反応率を指標とする認知心理学的実験の手法を中心に論じる。時間があれば、質問紙や生理指標等についても簡単に触れる予定である。

オーガナイザ：山中 仁寛 (甲南大学 知能情報学部 知能情報学科)

略 歴：甲南大学大学院自然科学研究科を修了し、首都大学東京システムデザイン学部を経て2016年より甲南大学知能情報学部准教授。人間の知覚、認知のプロセスの中での情報処理機構や生理状態の特徴と人間の振る舞いの関係を明らかにする研究を行っている。これらの研究を通じて、作業者の状態推定法の開発、ヒューマンエラーの未然防止策や人間中心設計システムへの応用に取り組んでいる。

専門分野：認知人間工学、感性工学、人間信頼性工学

講師：片山 順一 (関西学院大学 文学部 総合心理科学科)

略 歴：関西学院大学文学部心理学科、同大学院文学研究科心理学専攻を終え、日本学術振興会特別研究員、北海道大学教育学部・教育学研究科・教育学研究院を経て2009年より関西学院大学文学部教授。2010年より応用心理科学研究センター(CAPS)センター長を兼任。知覚や注意、情動、記憶等のヒトの認知機能について、脳波・事象関連脳電位や自律神経系の反応といった心理生理学的指標や実験心理学の手法を用いて研究を進めている。さらに、ここで得られた知見を応用した心理工学の研究も行っている。

専門分野：認知心理生理学、認知神経科学、心理工学



■コース 4

「MATLAB の講習会

～機械学習によるまばたきのリアルタイム認識～」

(15:15 ～ 17:15 1007 教室)

MATLAB を活用した画像処理・信号処理の効率的なワークフローを説明する。まばたき検出を題材に、リアルタイムでのカメラ画像取得から、特徴量抽出、分類器の学習、推定までの機械学習の一連の処理を体験する。さらに、Kinect などの深度センサーやスマートフォンから手軽に加速度やジャイロなどのセンサー信号を取得するインタフェースについても紹介する。MATLAB がはじめての方の参加も歓迎する。

オーガナイザ：橋本 渉 (大阪工業大学 情報科学部 情報メディア学科)

略 歴：1995 年筑波大学第三学群工学システム学類卒業、2000 年筑波大学大学院工学研究科知能機能工学専攻修了、同年筑波大学機能工学系助手、2002 年大阪工業大学へ、現在、大阪工業大学情報科学部情報メディア学科准教授。

講師：木川田 亘

(MathWorks Japan アプリケーションエンジニアリング部 信号処理・通信)

略 歴：2008 年東北大学大学院修士課程修了。同年ソニー株式会社入社。画像処理 LSI 設計エンジニアを経て、2014 年より MathWorks Japan 勤務。MATLAB/Simulink による画像処理、コンピュータービジョン、ロボティクス分野のアプリケーションエンジニアとして顧客支援に従事。現在に至る。

専門分野：画像処理、コンピュータービジョン、ロボティクス



■ワークショップ

- WS1 「コミュニケーションと笑い」 (17:30 ~ 19:00)
WS2 「ワークプレイスデザイン」 (17:30 ~ 19:00)
WS3 「ヘルスケア教材開発者のためのワークショップ
～子ども向け教材開発入門～」 (17:30 ~ 19:00)
WS4 「ハードウェアにもっと手を出してみるワークショップ」 (17:30 ~ 19:00)
WS5 「ハーフアイデアソン」 (17:30 ~ 19:00)
WS6 「未来のモビリティのインタフェースを考える」 (17:30 ~ 19:00)

■ワークショップ1 (17:30 ~ 19:00 1005 教室)

「コミュニケーションと笑い」

企画：コミュニケーション支援専門研究委員会 (SIGCE)

近年、教育のあり方が議論されることが多くなりました。アクティブラーニング、プロジェクトベースドラーニング、OJT、反転授業、いずれにおいても、いかに学習者自身に自ら学ぶ意欲を持たせるかが重要な点として挙げられています。改めて、自らの学習をいかに楽しむかということについて考えたとき、「笑い」は重要な要素になります。本ワークショップでは人の教育やコミュニケーションの場面において「笑い」がもたらす効用について体験を通じて学ぶことを目標とします。インタフェースの開発、アプリケーションの開発、インタラクションの評価、など研究の観点から少し離れて学習やコミュニケーションにおける「笑い」の効用について体験してみませんか。学ぶことやコミュニケーションにとって「笑い」とは何なのか、改めて考え、議論できる機会を設けることで、研究のアイデアに還元できるようなワークショップになればいいと考えています。

オーガナイザー：岡 耕平 (滋慶医療科学大学院大学)

登壇予定者：福岡 亮治 (大阪成蹊大学/元芸人)

問い合わせ先：岡 耕平 (k-oka@ghsj.ac.jp)

■ワークショップ2 (17:30 ~ 19:00 1104 教室)

「ワークプレイスデザイン」

企画：ユーザエクスペリエンス及びサービスデザイン専門研究委員 (SIG-UXSD)

ワークプレイス(働く空間)は、単なる職場としての物理的・機能的な空間から、そこに働く人々の仕事の仕方、生産性、コミュニケーション、イノベーションなどに重要な意味を持つ、創造的に働く人々を支える空間に、その役割が変化してきています。また、ワークプレイスをどのようにデザインするかが、働き方や仕事のアウトプットに大きな影響を及ぼしています。本ワークショップでは、働き方に大きな影響を及ぼすワークプレイスを、ユーザエクスペリエンス、サービスデザインの観点からどのようにデザインするべきかについて、最新のオフィスデザイン事例や、先行研究を紹介した上で、ワークショップ形式で議論をおこないます。働く場のデザイン、働き方などに興味のある皆さまの参加をお待ちしております。

オーガナイザー：大野 健彦 (NTT テクノクロス)

問い合わせ先：大野 健彦 (ohno.takehiko@po.ntt-tx.jp)



■ワークショップ3 (17:30～19:00 1006教室)

「ヘルスケア教材開発者のためのワークショップ

～子ども向け教材開発入門～」

企画：看護用具・用品開発に関わる専門研究委員会 (SIGHC)

自己の身体に関心を持ち、健康を維持・増進するためには、幼児の頃から身体の名義や仕組みを知り、学ぶことが重要です。一方、幼児は、発達過程上、日頃体験していることや目に見えるものは理解できるものの、そうでないものは理解しにくい特徴があります。そこで、身体に関する幼児の理解を促すためには、どのような学びの場や教材を準備すれば良いのか、どのような教材が適しているのか等、会場の皆様と意見交換したいと思います。話題提供には、保育の実際および学びの環境づくりの視点から、また、からだ教育を10年以上実践しているからだ教育研究会のメンバーをお招きして、活動内容や事例を通してお話頂きます。ヘルスケア、身体、子ども、教材開発等にご関心のある方のご参加をお待ちいたしております。

《内容》

1. 委員長挨拶：常盤 拓司
2. 話題提供
 - ・幼児期の特徴と保育の実際（目白大学 西山 里利）
 - ・5～6歳児が体を学ぶ（三重県立看護大学 菱沼 典子）
 - ・子どもの学びを促進する教材（京都大学 塩瀬 隆之）コーディネーター（東京都市大学 西山 敏樹）
3. パネルディスカッション
パネリストと会場の皆様で教材のあり方や教材開発について議論します。

オーガナイザー：西山敏樹（東京都市大学）
西山里利（目白大学）

問い合わせ先：西山里利（nishiyama@mejiro.ac.jp）

■ワークショップ4 (17:30～19:00 ロボティクス&デザインセンター(8階))

「ハードウェアにもっと手を出してみるワークショップ」

企画：アクセシブル・インタフェース専門研究委員会 (SIGACI)

今年のアクセシブル・インタフェース専門研究委員会 (SIGACI) 企画のワークショップは、昨年に引き続き「初心者対象・ものづくり系」です。SIGACIに関係のある方もない方も、ハードウェアに触れることで世界を広げてみませんか？内容としては今更ではありませんが、ESP8266の開発ボードで遊んでみようかと考えています。ハードウェア経験が少ない方を対象とします。パソコンはご持参ください。ご興味のある方はSIGACIの小林までお申込みください。材料に限りがあるため、先着5～6名の予定です。

問い合わせ先：小林 真（koba@cs.k.tsukuba-tech.ac.jp）



■ワークショップ5 (17:30～19:00 ロボティクス&デザインセンター(8階)) 「ハーフアイデアソン」

企画：HI 若手の会 (HIST)

現在、HI シンポジウムではスタンプリナーなどを用いて企業展示ブースの盛り上げを試みています。私たちはその試みの一環として企業展示を盛り上げることを目的に、展示ブースにいらっしゃる企業の方を技術アドバイザーに位置づけるハーフアイデアソンの開催を提案します。ハーフアイデアソンとは、ある特定のテーマについて多様な背景をもつ人々が対話を通じて、新たなアイデア創出を短期間で行うイベントのことです。具体的には、4～5人でグループを作り、展示ブースへの聞き取りや質問を通して、特定のテーマへのアイデアを練り上げます。HI シンポジウムでは、視線計測や3Dプリンタ、データ解析ソフトウェアなど、さまざまな企業が出展参加しています。今回の取り組みはそのような取り組みに加えて、企業にとって知名度のアップや、研究ニーズを発掘する良い機会となり、また学生側からは企業からの現実的なアドバイスによって刺激を受けることで、今後の研究活動や就職活動につながる良い機会になると考えます。

問い合わせ先：北村 尊義 (t.nordorf@gmail.com)
福森 聡 (morokataben.j@gmail.com)

■ワークショップ6 (17:30～19:00 ロボティクス&デザインセンター(8階)) 「未来のモビリティのインタフェースを考える」

企画：大阪工業大学

デザイン思考のプロセス、観察→アイデア創出→プロトタイプングを体験する。ユーザー視点に立った製品・サービスを生み出す思考を身に付けるきっかけを提供する。自動車、バイク、自転車に次ぐ第4のモビリティとして注目されているパーソナルモビリティを実際に体験し、さらに参加者の試乗も観察する。自らの体験や観察から得られた、ピンポイントの情報からワークショップによるアイデア出しを行う。最後に、段ボールや粘土など身近にあるモノを利用してアイデアを形にし、発表を行う。

登壇予定者：大阪工業大学教職員

問い合わせ先：横山 広充 (hiromitu.yokoyama@oit.ac.jp)
油井 毅 (ABURAI.Tsuyoshi@joshu.ac.jp)

● 9月5日 (火)

■一般発表 (50件)

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

■対話発表 (31件) (13:40～15:00 イノベーションラボ (9階))

発表プログラムは後ページをご参照下さい。



● 9月6日 (水)



■特別講演 1 (15:10 ~ 16:10 常翔ホール (3階))

「複雑系数理モデリング：ビッグデータを読み解く」

合原 一幸 (東京大学 生産技術研究所 教授)

“ひと”は複雑系の典型例である。そして、計測技術の大きな進歩に伴って、ひとに関わる様々なビッグデータを観測し蓄積することが可能になってきている。本特別講演では、この様な時代背景を考慮して、複雑系数理モデリング、すなわち、ビッグデータが何を語るかに耳を傾け、その本質をモデル化する「ビッグデータを読み解く」ための数理的手法をわかりやすく説明する。まずはじめに、観測時系列データを元に状態空間や非線形ダイナミクスを再構成する手法の基礎理論を概説する。次に、その応用手法を、生体データ、工学データ、自然データなど実データの具体的解析例を示しながら紹介する。



撮影：Rui Izuchi

■特別講演 2 (16:20 ~ 17:20 常翔ホール (3階))

「イノベーションのデザイン」

田村 大 (株式会社 リ・パブリック共同代表)

イノベーションの時代に欠かせないその創出フレームワークを、歴史的に俯瞰しながら概説します。イノベーションといえば「技術革新」を意味した時代を経て、この黄金のモデルが綻び、21世紀に入り、代わって脚光を集めるようになったデザイン中心のアプローチ。今、なぜデザインなのか。イノベーションを人間や社会の変化という視点で捉えることからその理由を述べ、イノベーションを生み出す環境の整え方を提案します。

■一般発表 (34件)

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

■対話発表 (31件) (13:30 ~ 14:50 イノベーションラボ (9階))

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

■企業展示アピールタイム (17:20 ~ 17:35 常翔ホール (3階))

■イブニングセッション (18:00 ~ 20:00 リストランテ翔 21 (21階))

● 9月7日 (木)

■一般発表 (37件)

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

■クロージングセッション (12:50 ~ 13:20 A会場 1104教室)



4日 講習会

1005 教室	1104 教室
講習会 1 13:00 ~ 15:00 「生体計測実践～HIのための脳波、心電図、皮膚電気活動 (EDA)、視線計測の勘所～」	講習会 2 13:00 ~ 15:00 「いまさら聞けないモーションキャプチャ基礎」

ワークショップ

1005 教室	1104 教室	1006 教室
WS1 17:30 ~ 19:00 「コミュニケーションと笑い」	WS2 17:30 ~ 19:00 「ワークプレイスデザイン」	WS3 17:30 ~ 19:00 「ヘルスケア教材開発者のためのワークショップ ～子ども向け教材開発入門～」

5日 (午前) 一般発表

A会場 (1104 教室)	B会場 (1005 教室)
5A1 芸術・エンタテインメント 9:30 ~ 10:50 中洲 俊信 (東芝)	5B1 協調作業支援 9:30 ~ 10:30 坂本 隆 (産業技術総合研究所)
<ul style="list-style-type: none"> ・5A1-1 対戦型テレビゲームにおけるプレイヤーの脳波計測 横田 悠右, 成瀬 康 (情報通信研究機構) ・5A1-2 包括的文脈におけるユーザ体験を考慮したゲームデザイン方法論 廣中 栄介, 村上 存 (東京大学) ・5A1-3 円筒状紐スクリーンの内と外を活用する影メディア表現空間のデザイン 山川 裕斗, 梶田 祐介, 林 真秀, 三輪 敬之 (早稲田大学) 西 洋子 (東洋英和女学院大学) ・5A1-4 ユーザの嗜好にもとづきフォトフレームを設計する「感性ファ アプリケーション」の実現 戸塚 敬, 白神 翔太, 木下 雄一郎, 郷 健太郎 (山梨大学) 	<ul style="list-style-type: none"> ・5B1-1 キャンセル ・5B1-2 分散オフィスにおける作業者の割り込み拒否度共有画面に対す る閲覧行動の分析 高島 健太郎, 横山 ひとみ, 藤田 欣也 (東京農工大学) ・5B1-3 心理尺度を用いた視覚障がい者と晴眼者の協調作業分析 古川 広一, 川崎 直毅, 黒澤 慎治, 大森 正太郎, 野口 崇人 矢入 郁子 (上智大学) ・5B1-4 脳波計を用いた視覚障害者と晴眼者のコラボレーション分析 岸田 卓大, 川崎 直毅, 後藤 隆太郎 (上智大学) 横田 悠右, 成瀬 康 (情報通信研究機構) 矢入 郁子 (上智大学)



5日(午前) 一般発表

A会場(1104教室)	B会場(1005教室)
5A2 インタフェースデザイン2 11:20～12:40 黒須 正明(放送大学)	5B2 看護・リハビリ 11:20～12:20 和田 親宗(九州工業大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 5A2-1 スマートウォッチ向けのスライドインを用いた文字入力手法 秋田 光平, 田中 敏光, 佐川 雄二(名城大学) • 5A2-2 ストレス測定システムにおける人型ロボットとGUIの操作性比較 村松 敦, 赤津 裕子(沖電気工業) • 5A2-3 テキストチャットと音声対話の融合によるコミュニケーション チャンネルに関する検討 後藤 充裕, 望月 崇由, 布引 純史(NTT) • 5A2-4 業務用アプリのデザイン要素検討 ～医療現場における言語訓練用アプリの事例研究から～ 片桐 有理佳, 小林 哲生(NTT) 阿久津 由紀子, 齋藤 貴美子, 渡辺 佐和(竹田総合病院) 	<ul style="list-style-type: none"> • 5B2-1 リハビリ支援のための身体活動量・心理尺度調査結果の分析 棚木 将, 白樫 陽太郎, 矢入 郁子(上智大学) • 5B2-2 慣性センサーを用いた正常圧水頭症(NPH)の歩行評価 大野 優美(東京工業大学), 喜古 勇(玉川病院) 堀 宏有, 廣部 祐樹(東京工業大学) 宮城 敦, 御任 明利, 日熊 麻耶(玉川病院) 大良 宏樹(東京工業大学), 和田 義明(玉川病院) 三宅 美博(東京工業大学) • 5B2-3 患者中心型デザインワークショップ手法のファシリテーション タイプと進行の関連 西山 里利(目白大学), 西山 敏樹(東京都市大学) 塩瀬 隆之(京都大学)
昼休み 12:40～13:40	

C会場 (1006 教室)	D会場 (1007 教室)
<p>5C2 知覚・認知 1 11:20 ~ 12:40 山本 知仁 (金沢工業大学)</p>	<p>5D2 感性・情動 11:20 ~ 12:40 藤田 欣也 (東京農工大学)</p>
<p>・5C2-1 個人の特徴と知的集中との関係に関する実験研究 緒方 省吾, 上田 樹美, 竹川 和佳子, 下田 宏, 石井 裕剛 (京都大学) 大林 史明 (パナソニック)</p> <p>・5C2-2 集中の深さに着目した知的生産性の定量的評価 上田 樹美, 下中 尚忠, 下田 宏, 石井 裕剛 (京都大学) 大林 史明 (パナソニック)</p> <p>・5C2-3 無意識に英語のリスニング能力を向上できるニューロフィードバック手法 常 明 (情報通信研究機構), 飯塚 博幸 (北海道大学) 成瀬 康 (情報通信研究機構) 古川 正紘, 安藤 英由樹, 前田 太郎 (情報通信研究機構 / 大阪大学)</p> <p>・5C2-4 電動義手の外見再現度および把持動作再現度が運動主体感に及ぼす影響の検討 古橋 龍一, 三宅 貫太郎, 佐藤 健治, 杉原 太郎, 五福 明夫 (岡山大学)</p>	<p>・5D2-1 ニューラルネットワークを用いた画像呈示時の快・不快情動の識別に関する研究 田中 健太, 柳澤 一機, 網島 均 (日本大学)</p> <p>・5D2-2 脳活動計測における快情動の質的評価に関する研究 小西 賢太郎, 柳澤 一機, 網島 均 (日本大学)</p> <p>・5D2-3 おもてなしの香りのデザインに関する一検討 中川 晴美 (サロン・ド・ハルファンキョウト) 桑原 教彰 (京都工芸繊維大学)</p> <p>・5D2-4 ぬいぐるみを見たときの「かわいい」感の心拍による評価 富部 剛史, 伊藤 弘大, 大倉 典子 (芝浦工業大学)</p>
<p>昼休み 12:40 ~ 13:40</p>	



5日 対話発表・デモ

イノベーションラボ (9階)	13:40 ~ 15:00
<ul style="list-style-type: none"> • 5Td3-1 PupilShutter : 瞳孔収縮を入力とする注釈提示システム 加藤 拓実, 黒田 嘉宏, 吉元 俊輔, 大城 理 (大阪大学) • 5Td3-2 NAMIDA⁰ : ミニマルなソーシャルエージェントとそのインタラクションデザイン 伏木 ももこ, 田村 真太郎, Nihan Karatas (豊橋技術科学大学) 島崎 景子, 因幡 千尋, 那和 一成 (トヨタ IT 開発センター) 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学) • 5Td3-3 DISC Keyboard : 円形ソフトウェアキーボードの検討 玉井 遼, 大西 克彦 (大阪電気通信大学) • 5Td3-4 思い出を想起させる高臨場感ライフアーカイブシステム 坂本 昌輝, 藤澤 理央, 比良 圭佑, 山本 知仁 (金沢工業大学) • 5Td3-5 脊髄損傷者の視点からのプロダクトの開発 ~関係者の聞き取りに基づく課題の抽出~ 伊藤 京子, 小島 理永, 正井 佐知 (大阪大学) • 5Td3-6 モノづくり設計支援のための水晶体混濁眼のぼやけ表現と妥当性評価実験 西田 和磨, 塚田 敦史, 大寄 雄太 (名城大学) 池田 卓実 (東洋インキ), 青井 清一 (TOTO) 張 彦芳 (4ALLdesign/九州大学) • 5Td3-7 携帯端末による実測値を用いた音量調整システムの提案と試作 赤池 英夫, 角田 博保 (電気通信大学) • 5Td3-8 ベアテスティング支援ツールの提案と避難行動実験への適用 川野 由香子, 浜 信彦, 奥村 宏平, 中道 上 (福山大学) 渡辺 恵太 (DNP デジタルソリューションズ) 	<ul style="list-style-type: none"> • 5Td3-9 アイコン変化によるフィードバックが得やすい非接触操作の比較 天早 健太, 木戸 瑛一, 中道 上 (福山大学) 渡辺 恵太 (DNP デジタルソリューションズ) 山田 俊哉 (NTT テクノクロス) • 5Td3-10 タブレット端末のロボット化における人-ロボットの関係性デザイン 奥田 悠資, 東 隆太郎 (関西学院大学), 青柳 西藏 (東洋大学) 福森 聡, 山本 倫也 (関西学院大学) • 5Td3-11 触れ合いとふれあい~相互接触へ向けた接触方法による感情生成 米澤 朋子 (関西大学), 山添 大丈 (立命館大学) • 5Td3-12 レーザー加工機のデザイン開発への活用 -オーディオ・デザインの提案-その2 益岡 了, 中原 嘉之 (岡山県立大学) 谷本 尚子 (京都市立芸術大学), 川合 康央 (文教大学) • 5Td3-13 「フラット型チャットツール」による社内コミュニケーション支援に関する研究 松下 慶大, 長 幾朗 (早稲田大学) • 5Td3-14 視線を考慮したルーブリックによる処方監査能力評価 神原 広明, 横山 大知, 中道 上, 江藤 精二 (福山大学) • 5Td3-15 TelePho : 人とロボットとのまなざしあう関係の構築にむけて 柄戸 拓也, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学)

5日 対話発表・ポスター

イノベーションラボ (9階)	13:40 ~ 15:00
<ul style="list-style-type: none"> • 5Tp3-1 嚥下筋活動計測におけるばらつき要因の検討 ～嚥下の繰り返しによる影響～ 大森 信行 (産業技術総合研究所 / 長野県工業技術総合センター) 遠藤 博史, 近井 学, 井野 秀一 (産業技術総合研究所) • 5Tp3-2 タッチパネル操作における高齢者の操作特性に関する基礎的研究 永井 正太郎, 福本 梨乃, 山下 久仁子, 岡田 明 (大阪市立大学) • 5Tp3-3 独り言表現を用いた経路案内表現によるドライバーの曲がり角 認知支援の検討 山脇 拓哉, 北村 尊義 (立命館大学), 泉 朋子 (大阪工業大学) 仲谷 善雄 (立命館大学) • 5Tp3-4 擬似咀嚼音による介護食の食感改善の試み －側頭筋を用いた咀嚼計測方法の検討－ 遠藤 博史, 金子 秀和 (産業技術総合研究所) 大森 信行 (長野県工業技術総合センター) 井野 秀一, 藤崎 和香 (産業技術総合研究所) • 5Tp3-5 音楽映像の嗜好性が自律神経と体感温度に及ぼす影響 伴野 明, 遠藤 豪, 樋口 慶太 (東海大学) • 5Tp3-6 匂い付き摂食映像の臨場感が記憶に及ぼす影響に関する一考察 伴野 啓介, 山田 竜也, 牧野 大翔, 田中 真奈, 伴野 明 (東海大学) • 5Tp3-7 摂食時・調理時の視聴覚情報提示が食欲に及ぼす影響 伴野 明, 松島 大士 (東海大学) • 5Tp3-8 スマートフォンを用いたテキストによる消防緊急通報時の焦り 度推定手法の提案 樋口 雄大, 北村 尊義 (立命館大学), 泉 朋子 (大阪工業大学) 仲谷 善雄 (立命館大学) 	<ul style="list-style-type: none"> • 5Tp3-9 PDF 貼付ソフトウェアによる電子掲示板についての研究 齋藤 優作, 山尾 裕樹, 木村 敏幸 (東北学院大学) • 5Tp3-10 緊急時の電車内における相互扶助行動の支援システムのデザイ ン検討 八木 涼平, 北村 尊義 (立命館大学), 泉 朋子 (大阪工業大学) 仲谷 善雄 (立命館大学) • 5Tp3-11 ロボットコミュニケーションにおける生体情報を用いた位置調整 染谷 祐理子, 池田 悠平, 馮 晨, 菅谷 みどり (芝浦工業大学) • 5Tp3-12 目的地までの所要時間を考慮した時間地図の作成 鈴木 宏典, 佐藤 正人 (日本工業大学) • 5Tp3-13 装着型ロボットアーム操作のためのユーザインタフェースの検討 小島 景行, 山添 大丈, 李 周浩 (立命館大学) • 5Tp3-14 聞き流せる報知音 ～アンビエント報知音に必要な条件導出に向けて～ 尾上 怜子, 光本 恵, 和氣 早苗 (同志社女子大学) • 5Tp3-15 歩行者における異常行動の特徴抽出 中村 一美 (近畿大学), 露木 章史 (慶應義塾大学) 田中 一基 (近畿大学) • 5Tp3-16 タンジブルなプログラミングツールプロたんを用いた協調学習 の学習効果における検証方法の検討 鉄村 直樹, 本吉 達郎, 津田 真理子, 澤井 圭, 増田 寛之 玉本 拓巳, 小柳 健一, 大島 徹 (富山県立大学) 川上 浩司 (京都大学)



5日(午後) 一般発表

A会場(1104教室)	B会場(1005教室)
5A4 VR・AR・3D 15:20～17:00 井原 雅行 (NTT)	5B4 学習・教育支援 15:20～17:00 小林 裕之 (大阪工業大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 5A4-1 磁気式 MoCap を用いた没入型 VR 向け手書き文字入力用インタフェースの構築 丹野 遼平, 藤原 克哉, 水戸部 一孝 (秋田大学) • 5A4-2 全方位視型ドローンの操縦特性 安藤 雅洋 (長岡技術科学大学), 小坂 大輝 (総合警備保障) 羽山 徹彩, 湯川 高志 (長岡技術科学大学) • 5A4-3 全天球カメラを用いたメモ書きのための MR システムの提案 石川 大純, 田野 俊一, 橋山 智訓 (電気通信大学) 岩田 満 (東京都立産業技術高等専門学校) • 5A4-4 複数人で使用可能な 3D アイデアノートシステムの提案 猪藤 孝之, 田野 俊一, 橋山 智訓, 丸谷 大樹 (電気通信大学) • 5A4-5 3D スケッチシステムにおける ON/OFF インタラクションの検討 橋口 大地, 田野 俊一, 橋山 智訓, 丸谷 大樹 (電気通信大学) 	<ul style="list-style-type: none"> • 5B4-1 聴衆にわかりやすい発表の仕方の習得を目指した練習システム - 発表のペース、声のペース、顔の向き改善の支援 - 前田 竜輝, 渋谷 雄 (京都工芸繊維大学) • 5B4-2 複数の仮設ペルソナと演劇的手法を用いた診療観察と記述方法の考察 大草 真弓, 石川 亮 (成安造形大学) • 5B4-3 段階的詳細化能力に着目したプログラミングのグループ学習の調査 田村 侑大, 木村 優那, 矢入 郁子 (上智大学) • 5B4-4 漢字の読み書き困難の有無による漢字学習ゲームの方略の違いの検討 荒木 雄大, 縄手 雅彦, 伊藤 史人 (島根大学) • 5B4-5 発達支援のための物理的に相互作用できる球体ロボットの開発 石井 貴大, 高橋 一誠, Baptiste Bourreau, 辻 愛里, 鈴木 健嗣 (筑波大学)

C会場 (1006 教室)	D会場 (1007 教室)
5C4 福祉・障がい者支援・高齢者支援 1 15:20 ~ 17:00 吉川 雅博 (大阪工業大学)	5D4 交通・運転者支援 15:20 ~ 17:00 岩木 直 (産業技術総合研究所)
<ul style="list-style-type: none"> <p>• 5C4-1 自閉症スペクトラム児を対象としたボディイメージ訓練ソフトの開発 東田 拓也, 伊藤 史人, 縄手 雅彦 (鳥根大学)</p> <p>• 5C4-2 視覚障害者のための点訳・音訳サービス利用状況調査 渡辺 哲也 (新潟大学), 小林 真 (筑波技術大学) 南谷 和範 (大学入試センター)</p> <p>• 5C4-3 聴覚障害学生の ICT 機器及び人的支援利用状況調査 小林 真 (筑波技術大学), 渡辺 哲也 (新潟大学) 南谷 和範 (大学入試センター)</p> <p>• 5C4-4 自閉症スペクトラム障害児を対象とする追従行動のモデル化と計測 辻 愛里 (筑波大学), 関根 悟, 榎本 拓哉 (慶應義塾大学) 松田 壮一郎 (筑波大学), 山本 淳一 (慶應義塾大学) 鈴木 健嗣 (筑波大学)</p> <p>• 5C4-5 Kinect を活用した上腕の意識的な制御を伴った高齢者の歩行姿勢の評価手法 武藤 剛 (文教大学), 菅生 誠 (テレビジネス) 村田 修平, 鈴木 愛理, 福本 将也 (文教大学) 武藤 ゆみ子 (東京工業大学)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <p>• 5D4-1 自律神経系指標を用いた鉄道運転作業時の心理状態の推定の検討 中川 千鶴, 秋保 直弘, 吉江 幸子, 小島 崇, 池畑 政輝 (鉄道総合技術研究所) 牛場 潤一 (慶應義塾大学)</p> <p>• 5D4-2 機械学習を用いた脳波による鉄道運転作業中の心理的動揺推定の検討 秋保 直弘, 中川 千鶴, 吉江 幸子, 小島 崇, 池畑 政輝 鈴木 綾子 (鉄道総合技術研究所) 牛場 潤一 (慶應義塾大学)</p> <p>• 5D4-3 単眼式ヘッドアップ・ディスプレイ使用時の虚像の視認性 藤原 悠史, 篠原 一光 (大阪大学) 紀ノ定 保礼 (静岡理工科大学), 木村 貴彦 (関西福祉科学大学)</p> <p>• 5D4-4 ウェアラブルデバイスを用いたドライバの運転余裕推定 乙川 友佑, 西内 信之 (首都大学東京), 茅原 崇徳 (金沢大学) 山中 仁寛 (甲南大学), 森島 圭祐 (ヤマハ発動機)</p> <p>• 5D4-5 車の運転中に感じる不安要素 城戸 恵美子 (三菱電機 / 成城大学) 新垣 紀子, 青山 征彦 (成城大学) 朴 信映, 河原 健太 (三菱電機)</p>



6日(午前) 一般発表

A会場(1104教室)	B会場(1005教室)
6A1 インタフェースデザイン3 9:00 ~ 10:20 鱗原 晴彦 (U'eyes Design)	6B1 身体的インタラクション 9:00 ~ 10:20 森川 治 (山口大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 6A1-1 スライドインを用いたスマートウォッチ向け文字入力手法専用のタッチボード 坂 香太郎, 田中 敏光, 佐川 雄二 (名城大学) • 6A1-2 ユーザの水中活動の分析にもとづくジェスチャインタラクションの設計 鈴木 拓海, 白神 翔太, 木下 雄一郎, 郷 健太郎 (山梨大学) • 6A1-3 膨らむ形状変化モバイルディスプレイにおけるインタラクションの実現 藤原 耕平, 木下 雄一郎, 白神 翔太, 郷 健太郎 (山梨大学) • 6A1-4 フレキシブルディスプレイを活用したデジタルサイネージにおける形状変化の検討 坂本 凌, 木下 雄一郎, 郷 健太郎 (山梨大学) 	<ul style="list-style-type: none"> • 6B1-1 共創的な気づきを促す手合わせ表現システムのデザイン 小峰 玄寛, 林 龍太郎, 三輪 敬之 (早稲田大学) 西 洋子 (東洋英和女学院大学) • 6B1-2 対話型プレゼンテーションにおける人物状態アノテーションの検討 神原 隆宏, 吉村 宏紀, 西山 正志, 岩井 儀雄 (鳥取大学) • 6B1-3 Influence of listeners' body direction on embodied synchrony in tripartite face to face communication Xiaoqian Fang, Tomoya Sato, Shun-ichi Amano Ken-ichiro Ogawa, Yoshihiro Miyake (Tokyo Institute of Technology) • 6B1-4 ハンドジェスチャを用いたオブジェクト選択における許容可能な滞留時間の検討 村田 和義 (青山学院大学)
6A2 コミュニケーション支援1 10:35 ~ 12:15 渡辺 富夫 (岡山県立大学)	6B2 ユーザ行動・ユーザモデル 10:35 ~ 12:15 石井 裕 (岡山県立大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 6A2-1 デジタルサイネージを用いた異文化理解を促す情報提示方法の提案 辻 雄太, 浦山 大輝, 上田 樹美, 石井 裕剛, 下田 宏 (京都大学) 望月 理香, 渡辺 昌洋 (NTT) • 6A2-2 デジタルサイネージを利用した異文化コミュニケーション誘発手法の提案 浦山 大輝, 辻 雄太, 石井 裕剛, 下田 宏, 南條 浩輝 (京都大学) 望月 理香, 渡辺 昌洋 (NTT) • 6A2-3 視覚的ノンバーバル情報が視聴者への情報伝達に及ぼす影響 関 和幸, 大久保 雅史 (同志社大学) • 6A2-4 書き込み時のリアルタイム表情分析に関する研究 浅田 太郎 (京都府立大学), 森 健太 (寝屋川市役所) 嶋田 亮一 (JFE システムズ) 吉富 康成, 田伏 正佳 (京都府立大学) • 6A2-5 アカデミアにおける熟議の場の構築 - 動画とネットを活用した仮想熟議法 (VD法) の提案 - 黒須 正明 (放送大学), 橋爪 絢子 (首都大学東京) 	<ul style="list-style-type: none"> • 6B2-1 確率的作業持続モデルを用いたPC作業持続時間の予測可能性の検討 白鳥 翔太, 藤本 雄一郎, 藤田 欣也 (東京農工大学) • 6B2-2 行動・環境、知的活動データの収集とユーザへの知的活動支援システムの提案と基礎部分の実装 長谷川 開士, 田野 俊一, 橋山 智訓 (電気通信大学) 岩田 満 (東京都立産業技術高等専門学校) 丸谷 大樹 (電気通信大学) • 6B2-3 ユーザー体験を考慮した開発のためのUCD8原則と応用 倉持 淳子, 佃 五月 (シャープ) • 6B2-4 行動状況に合わせた情報表示に対するユーザー評価 - ビデオ映像を用いた再実験結果 - 竹内 尚稀, 安藤 昌也 (千葉工業大学) • 6B2-5 どんな表現であれば人は援助しても良いと思うのか? 安藤 昌也, 杉山 雄太 (千葉工業大学)
昼休み 12:15 ~ 13:30	

C会場 (1006 教室)	D会場 (1007 教室)
6C1 知覚・認知2 9:00 ~ 10:20 伊藤 潤 (UX 総研)	6D1 生理・心理 9:00 ~ 10:20 土井 幸輝 (国立特別支援教育総合研究所)
<ul style="list-style-type: none"> • 6C1-1 軽度認知症患者における BCI 文字入力特性 栗原 龍之典, 諸岡 遼, 濱中 咲希, 田中 久弥 (工学院大学) 馬原 孝彦, 都河 明人, 羽生 春夫 (東京医科大学) • 6C1-2 エージェントに対する応答時の表情分析システム 浅田 太郎 (京都府立大学), 小儀 大地 (エステンナイン京都) 嶋田 亮一 (JFE システムズ) 吉富 康成, 田伏 正佳 (京都府立大学) • 6C1-3 笑う門には福来たる? - 笑いがもたらす認知的効果 藤野 秀則, 宇野 美冴希, 藤倉 彩瑛, 柳澤 茉那 (福井県立大学) • 6C1-4 情報端末を用いたイルカとのコミュニケーション 栗田 礼, 小木 哲朗 (慶應義塾大学) 醍醐 博明 (ソニービジネスソリューション) 尾高 康恵 (デザインドメインジャパン) 大下 勲, 羽田 秀人 (新江ノ島水族館) 	<ul style="list-style-type: none"> • 6D1-1 色によるエアコン動作状況表示が温冷感推移に及ぼす影響 岡本 洋輔 (大同大学 / 産業技術総合研究所) 神谷 勝 (デンソー) 中川 誠司 (千葉大学 / 産業技術総合研究所) • 6D1-2 バイタルセンシングチェアの応用可能性について 大須賀 美恵子 (大阪工業大学) • 6D1-3 単調作業の疲労に対する能動的運動の休息効果 荒巻 公亮, 萩原 啓 (立命館大学) • 6D1-4 言語刺激による緊張の脳波を用いた分析 布川 絢子, 後藤 隆太郎, 矢入 郁子 (上智大学)
6C2 デザイン一般 10:35 ~ 11:55 和氣 早苗 (同志社女子大学)	6D2 福祉・障がい者支援・高齢者支援2 10:35 ~ 11:55 布川 清彦 (東京国際大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 6C2-1 いわゆる潜在ニーズを探索するインタビュー法開発に関する研究 - フォーカシングを用いたインタビューの検討 - 佐藤 茜, 安藤 昌也 (千葉工業大学) • 6C2-2 電子絵本における文字の強調表現が内容理解に与える影響 池下 花恵 (相模女子大学) • 6C2-3 音声入力カーナビにおける満足度低下要因の分析 脇田 由実, 大須賀 美恵子 (大阪工業大学) 神沼 充伸 (日産自動車) • 6C2-4 未来のソリューションを導出するためのデザイン思考プロセス 渋谷 恵, 荒井 観 (NEC) 山下 勲一, 齋藤 剛, 山崎 慎也 (富士ゼロックス) 木曾 宏顕 (NEC) • 6C2-5 キャンセル 	<ul style="list-style-type: none"> • 6D2-1 脊髄損傷者を対象としたアプリによるスポーツ・ネットワーキングの構築に向けて 小島 理永, 伊藤 京子, 正井 佐知 (大阪大学) • 6D2-2 生体スイッチのための眼電位解析アルゴリズム 環 大介, 田中 久弥 (工学院大学) • 6D2-3 影メディアを用いた発達障害児を対象とする身体表現ワークショップ 林 真秀 (早稲田大学), 西 洋子 (東洋英和女学院大学) 三輪 敬之 (早稲田大学) • 6D2-4 3次元アニメーションによる手話手型一覧の作成 渡辺 桂子, 長嶋 祐二 (工学院大学) 加藤 直人, 内田 翼, 宮崎 太郎, 東 真希子, 梅田 修一 山内 結子, 住吉 英樹 (NHK 放送技術研究所)
昼休み 12:15 ~ 13:30	



6日 対話発表・デモ

イノベーションラボ (9階)		13:30 ~ 14:50
<ul style="list-style-type: none"> • 6Td3-1 HMD を用いた中学校技術科の師範教材の開発 黒田 勉 (香川大学) • 6Td3-2 ぬりつぶし爽事機の試作 大澤 奈々穂, 和田 佑太, 八木澤 喬樹 (三菱電機) • 6Td3-3 モバイル端末によるリアルタイム音空間デザインシステム 梅田 尚哉, 山本 知仁 (金沢工業大学) • 6Td3-4 Talking-Bones: ソーシャルなロボットによる関係発達論的な学びの場のデザイン 山村 祐之, 西脇 裕作, 星野 翔平, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学) • 6Td3-5 江戸時代後期の江の島を対象とした浮世絵風景観シミュレーションの開発 鶴巢 凌哉, 小林 夏美, 清川 真純, 遠坂 彩香, 伊藤 沙恵, 土屋 輝恵, 川合 康央 (文教大学) • 6Td3-6 歴史的街並み景観シミュレーションシステム 川合 康央 (文教大学), 門屋 博 (相模女子大学), 益岡 了 (岡山県立大学) • 6Td3-7 アイトラッカを用いた広視野角目視検査訓練システムの提案 佐藤 弥由, 松延 拓生, 満田 成紀, 鯉坂 恒夫 (和歌山大学) • 6Td3-8 音階・音圧・音色を、色の要素に変換するペイントアプリケーションの開発 吉田 周生, 鶴岡 将大, 角田 真和, 轟 翔貴, 佐野 昌己, 川合 康央 (文教大学) • 6Td3-9 立位・座位におけるポインティングジェスチャーの相違度分析 杉原 慶哉 (福山大学), 渡辺 恵太 (DNP デジタルソリューションズ), 池岡 宏, 中道 上 (福山大学), 山田 俊哉 (NTT テクノクロス) 	<ul style="list-style-type: none"> • 6Td3-10 マッサージチェアを用いた心身活性化システム 上甲 志歩, 柳口 和哉, 小野 正生 (大阪工業大学), 増田 雅亮, 財部 政文 (フジ医療器) • 6Td3-11 AQ フリッカーによる疲労評価に関する研究 川野 常夫 (摂南大学), 福井 裕 (大阪府立大学) • 6Td3-12 カメラ映像からの脈波および瞬目波形計測と覚醒状態判定 鎌倉 快之, 大須賀 美恵子 (大阪工業大学) • 6Td3-13 生体感情推定手法によるレコメンドシステム 田中 智史, 池田 悠平, 菅谷 みどり (芝浦工業大学) • 6Td3-14 ヘッドマウントディスプレイ使用時の文字入力手法 荻谷 太平, 荒堀 喜貴, 権藤 克彦 (東京工業大学) • 6Td3-15 3D フラクタル集合の体積走査による実空間表示 山本 欧 (東京電機大学) • 6Td3-16 「関数」の概念を学習要素に導入したタンジブルなプログラミングツール 津田 真理子, 本吉 達郎, 鉄村 直樹, 澤井 圭, 増田 寛之, 玉本 拓巳, 小柳 健一, 大島 徹 (富山県立大学) 	
特別講演 1 (常翔ホール)		15:10 ~ 16:10
「複雑系数理モデリング：ビッグデータを読み解く」		
合原 一幸 (東京大学 生産技術研究所 教授)		
特別講演 2 (常翔ホール)		16:20 ~ 17:20
「イノベーションのデザイン」		
田村 大 (株式会社 リ・パブリック 共同代表)		
企業展示アピールタイム (常翔ホール)		17:20 ~ 17:35
イブニングセッション (レストランテ翔 21)		18:00 ~ 20:00

6日 対話発表・ポスター

イノベーションラボ (9階)		13:30 ~ 14:50
<ul style="list-style-type: none"> • 6Tp3-1 人-ロボット共存環境時代における協調安全のためのインターフェースの新しい考え方 藤谷 繁年, 岡田 和也, 前田 育男, 稲田 宏治, 土肥 正男 藤田 俊弘 (IDEC) • 6Tp3-2 電動アシスト車いすの走行精度および操作安定性向上のためのファジィ推論型走行制御 倉本 達矢, 関 弘和 (千葉工業大学) • 6Tp3-3 コミュニケーション能力がロボットに対するパーソナルスペースに及ぼす影響 松島 大志, 大久保 雅史 (同志社大学) • 6Tp3-4 電動アシスト車いすの路面外乱レベル適応型直進旋回走行制御法 山根 亮佑, 関 弘和 (千葉工業大学) • 6Tp3-5 自動表情認識を用いた遠隔感情共有システムの開発 平島 健大, 大久保 雅史 (同志社大学) • 6Tp3-6 笑顔に着目した動画の評価取得手法の検討 田村 俊, 大久保 雅史 (同志社大学) • 6Tp3-7 複数のエージェントの振る舞いが印象形成に及ぼす影響 田村 一樹, 大久保 雅史 (同志社大学) • 6Tp3-8 温度情報のファジィメンバシップ関数自動設計に基づく高齢者異常行動検出システム 高長 晶, 関 弘和 (千葉工業大学) • 6Tp3-9 水素吸蔵合金を応用した災害救助用ソフトジャッキアップツールの設計 細野 美奈子, 榊 浩司, 近井 学 (産業技術総合研究所) 島田 茂伸 (東京都立産業技術研究センター) 土井 幸輝 (国立特別支援教育総合研究所) 中村 優美子, 井野 秀一 (産業技術総合研究所) 	<ul style="list-style-type: none"> • 6Tp3-10 ナッジを用いた観光誘導システムの実証的デザイン検討 平石 雄規, 北村 尊義 (立命館大学), 泉 朋子 (大阪工業大学) 仲谷 善雄 (立命館大学) • 6Tp3-11 DJ 初学者の基礎技術習得支援を目的とした熟練者と初学者の注視点分析 南 和宏, 北村 尊義 (立命館大学), 泉 朋子 (大阪工業大学) 仲谷 善雄 (立命館大学) • 6Tp3-12 ランドマーク着目傾向を考慮したルートマップ型地図検索インタフェースの検討 田中 智大, 北村 尊義 (立命館大学), 泉 朋子 (大阪工業大学) 仲谷 善雄 (立命館大学) • 6Tp3-13 観光客のマルチエージェント広域避難行動シミュレーションにおけるインタフェースの検討 中 利弘, 北村 尊義 (立命館大学), 泉 朋子 (大阪工業大学) 仲谷 善雄 (立命館大学) • 6Tp3-14 外傷性脳損傷による記憶障害への遠隔リハビリの効果: システムティックレビュー 岡橋 さやか, 浅野 真琴, 生島 悠貴, 二木 淑子 (京都大学) • 6Tp3-15 TouchDeMeasure: タッチ教示を用いた画像計測支援ツール 榎本 洗一郎, 戸田 真志, 川崎 琢磨, 清水 洋平 (新潟大学) 	
特別講演 1 (常翔ホール)		15:10 ~ 16:10
「複雑系数理モデリング: ビッグデータを読み解く」		
		合原 一幸 (東京大学 生産技術研究所 教授)
特別講演 2 (常翔ホール)		16:20 ~ 17:20
「イノベーションのデザイン」		
		田村 大 (株式会社 リ・パブリック 共同代表)
企業展示アピールタイム (常翔ホール)		17:20 ~ 17:35
イブニングセッション (レストランテ翔 21)		18:00 ~ 20:00



7日(午前) 一般発表

A会場(1104教室)	B会場(1005教室)
<p>7A1 福祉・障がい者支援・高齢者支援 3 9:00 ~ 10:40 桑原 教彰(京都工芸繊維大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7A1-1 視覚障害者の触指位置追跡による図形イメージの分析 村井 保之(日本薬科大学), 巽 久行, 宮川 正弘(筑波技術大学) ・7A1-2 地域見守りシステムの利用における利他的意欲とユーザー行動パターンの分析 杉本 和繁, 安藤 昌也(千葉工業大学) ・7A1-3 高齢農家を支援する青果物エコ搬送システムの実験と評価 西山 敏樹(東京都市大学), 常盤 拓司(慶應義塾大学) ・7A1-4 視知や触知の向上による視覚障害者のオブジェクト認識支援 巽 久行(筑波技術大学), 村井 保之(日本薬科大学), 関田 巖, 宮川 正弘(筑波技術大学) ・7A1-5 視覚障害者のための音響ペンによる手書き支援の考察 巽 久行(筑波技術大学), 村井 保之(日本薬科大学), 小林 真, 宮川 正弘(筑波技術大学) 	<p>7B1 社会・生活インタフェース 9:00 ~ 10:40 吉野 孝(和歌山大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7B1-1 iBeaconを用いた多言語観光情報提供システム 受川 誠一郎, 佐藤 章, 金塚 裕也(EMBARK JAPAN), 伊藤 研一郎, 小木 哲朗(慶應義塾大学) ・7B1-2 社会的ネットワーク分析における2次の隔たりに対するコミュニケーション可能性 天野 俊一, 小川 健一朗, 三宅 美博(東京工業大学) ・7B1-3 高齢者の自助生活のためのカレンダー・システムの提案 榎 勝彦, 畔柳 加奈子(京都工芸繊維大学), 伊賀 陽祐, 栗野 正雄, 羽田 亜美, 井上 裕功(シャープ), 鳥宮 尚道(札幌大谷大学) ・7B1-4 高抽象度赤外線画像センサを用いた行動認識システムの研究 村上 奨悟, 加藤 友基, 矢入 郁子(上智大学) ・7B1-5 研究室における個人用机での作業に必要なスペース確保のために片付けを促すシステム 白澤 怜樹, 渋谷 雄(京都工芸繊維大学)
<p>7A2 コミュニケーション支援 3 10:55 ~ 11:35 葛岡 英明(筑波大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7A2-1 キャンセル ・7A2-2 キャンセル ・7A2-3 対面コミュニケーションにおける対話内容への理解度と身体運動の同調の関係 土屋 彩茜, 大良 宏樹, Qiao Hao, 大野 優美, 佐藤 ひかり, 亀田 耕平, 三宅 美博(東京工業大学) ・7A2-4 キャンセル ・7A2-5 ハンドロボットを用いた手振り動作の印象評価 池田 香織, 石井 裕, 渡辺 富夫(岡山県立大学) 	<p>7B2 ユーザビリティ・UD 10:55 ~ 12:35 安藤 昌也(千葉工業大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7B2-1 スマホでの日本語文字入力時における負荷分析とスマホアクセサリによる負荷軽減 廣川 敬康, 佐々木 祐輝, 津村 祐貴, 大政 光史(近畿大学) ・7B2-2 ユーザの機器操作時のためらい推定に関する研究 時崎 涼輔, 葛岡 英明(筑波大学) ・7B2-3 デジタルサイネージのコンテンツ表示方法に関する検討 渡辺 昌洋, 寺中 晶郁, 齋藤 俊英, 望月 理香, 森西 優次, 中濱 清志(NTT) ・7B2-4 設計者とユーザ間の差異の多様性を考慮した安全・ユーザビリティ設計支援技術の研究 岡本 真拓, 村上 存(東京大学) ・7B2-5 携帯端末における多様な振動フィードバックがユーザの操作に与える影響 白神 翔太, 木下 雄一朗, 郷 健太郎(山梨大学)

クロージングセッション (A会場 1104教室) 12:50 ~ 13:20

C会場 (1006 教室)	D会場 (1007 教室)
<p>7C1 コミュニケーション支援2 9:00 ~ 10:40 三宅 美博 (東京工業大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 7C1-1 抽象的ロボットアバターが遠隔対話における自己開示量と社会的存在感に与える影響 横山 正典, 望月 崇由, 布引 純史 (NTT) • 7C1-2 問いかけガイドを用いたイシューの対話デザイン 草野 孔希, 木村 篤信, 井原 雅行 (NTT) • 7C1-3 講演者の視線に応じて観客キャラクターが積極的に傾聴する没入型講演体験システムの開発 田中 一也, 渡辺 富夫, 石井 裕 (岡山県立大学) • 7C1-4 エージェントと人の対話における姿勢一致パラメータの時系列変化と対話満足度の関係 森山 広大 (東京大学), 北島 宗雄 (長岡技術科学大学) 村上 存 (東京大学) • 7C1-5 なじみのない事物の簡易説明表現生成に関する検討 望月 理香, 齋藤 俊英, 渡辺 昌洋, 宮原 伸二 (NTT) 	<p>7D1 ロボットエージェント 9:00 ~ 10:40 神田 智子 (大阪工業大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 7D1-1 非流暢性を伴う発話調整方略とその適応について 松下 仁美, 星野 翔平, 香川 真人, 山村 祐之, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学) • 7D1-2 〈もこもこ音〉による人とロボットのコミュニケーションに向けて 石川 将輝, 塚本 浩祐, 川合 喜己, 香川 真人, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学) • 7D1-3 図形の伸縮によるエージェントの感情表現に関する印象評価 有賀 玲子, 渡邊 淳司, 布引 純史 (NTT) • 7D1-4 人型サービスロボットデザインにおける比較文化的視点からの受容性調査 中川 志信 (大阪芸術大学), 鶴岡 信治, 田口 寛 (三重大学) 川西 千弘 (京都光華女子大学) • 7D1-5 音声によるプッシュ型情報提供にむけた身体動作に基づく情報提示機会の推定可能性 藤本 雄一郎, 永澤 由基 (東京農工大学) 徐 建鋒, 田坂 和之, 柳原 広昌 (KDDI 総合研究所) 藤田 欣也 (東京農工大学)
<p>7C2 知覚・認知3 10:55 ~ 12:35 高橋 信 (東北大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 7C2-1 運動制御ネットワークに基づいたVRニューロフィードバック 金田 青瑚, 大類 稜介, 長谷川 裕一, 田中 久弥 (工学院大学) • 7C2-2 空気を用いた口腔内の温度・湿度変化による擬似的な味覚提示実験 山本 有里佳, 田野 俊一, 橋山 智訓, 丸谷 大樹 (電気通信大学) 岩田 満 (東京都立産業技術高等専門学校) • 7C2-3 時間を止める時計：ゆとりを生む時間感覚調整インタフェースの開発 巖淵 守, 武長 龍樹, 中邑 賢龍 (東京大学) • 7C2-4 タッチ動作における視覚と体性感覚のズレの分析 田中 裕梨子, 山添 大丈, 李 周浩 (立命館大学) • 7C2-5 奥行方向における引っ張り力錯覚の強調 竹内 凌一, 橋本 渉, 水谷 泰治, 西口 敏司 (大阪工業大学) 	<p>7D2 モバイル・ウェアラブル 10:55 ~ 12:35 則枝 真 (NEC)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 7D2-1 実作業に対する習熟過程をワークロードの変化から推定する 東 佑一朗 (兵庫県立大学 / 情報通信研究機構) 小竹 康代, 中嶋 宏 (オムロン) 横田 悠右, 成瀬 康 (情報通信研究機構) • 7D2-2 前腕形状計測に基づく手の動作認識によるロボットアームの操作 趙 崇貴, 清川 拓哉, 友近 圭汰 (奈良先端科学技術大学院大学) 吉川 雅博 (大阪工業大学) 小笠原 司 (奈良先端科学技術大学院大学) • 7D2-3 ライフログデバイスによるリアルタイムワークロード推定の基礎的検討 小川 剛史, 高橋 信 (東北大学) • 7D2-4 電車通学者の車内での状況に応じたタスク提示により時間の有効活用を支援するシステム 小西 健太, 渋谷 雄 (京都工芸繊維大学) • 7D2-5 後頸部への皮膚感覚刺激が顔面部の血行及び心理状態に及ぼす影響 喜多 萌子, 柴原 舞, 佐藤 克成 (奈良女子大学)

ヒューマンインタフェースシンポジウム

Human Interface 2017

かたちにする 共感する

●会場までの交通



<http://www.oit.ac.jp/rd/access/index.html>

【地下街からのアクセス（地下街直結）】

ホワイティうめだプチシャンモールをプチ北広場まで進み、ヤンマー本社ビル H-2 方向に曲がり地下道を突き当たりまで進む。

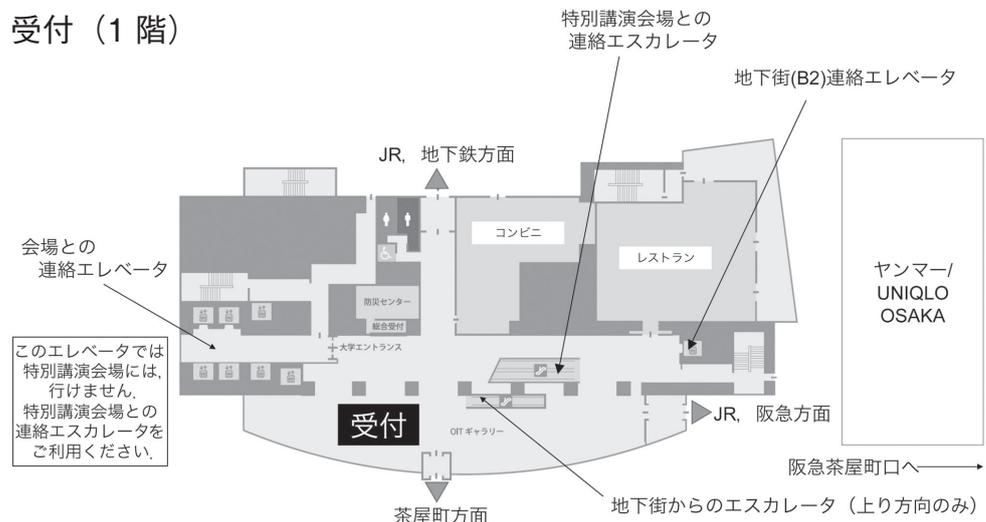
(JR、地下鉄、各私鉄のすべての駅から雨の日も快適にアクセスできます。)

●会場図

シンポジウム会場のうち、1～3階は非セキュリティエリア、8～11階はセキュリティエリア、21階は一部セキュリティエリアとなります。

セキュリティエリア内においては当日の会場内指示に従ってください。

受付（1階）



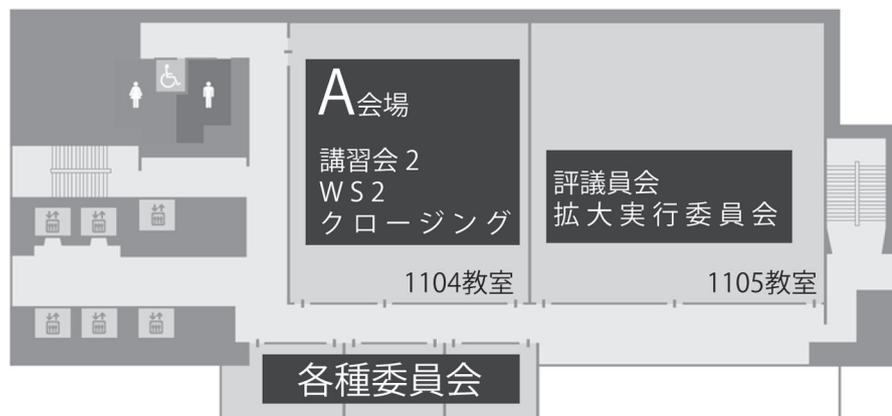


●会場図

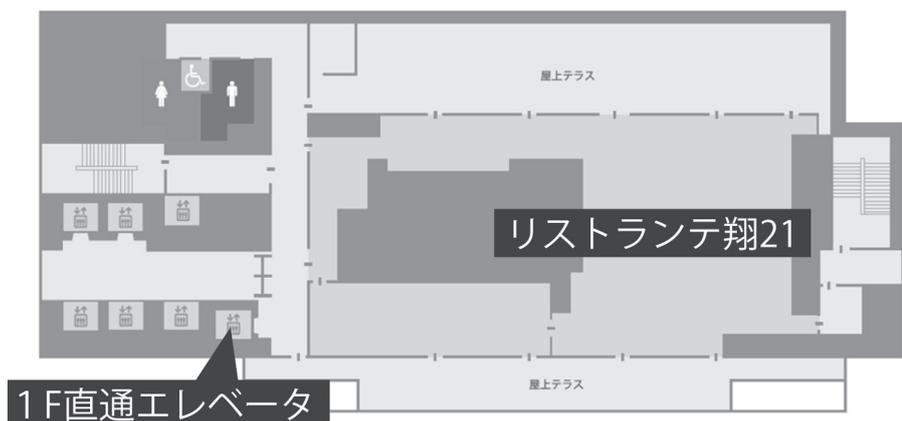
一般発表 B/C/D、講習会 1/3/4、WS1/3、企業展示（10階）



一般発表 A、講習会 2、WS2、評議員会、各種委員会（11階）



イブニングセッション（21階）





●参加費と参加申込

■参加費

	事前価格 (8/28(月)迄) (3) ※		当日価格 (8/29(火)以降) ※		Evening Session
	《発表と聴講》	《聴講》	《発表と聴講》	《聴講》	
学会員 協賛会員	13,000- (1)(2)	13,000- (2)	15,000- (1)(2)	15,000- (2)	6,000-
非会員	21,000- (1)(2)	21,000- (2)	24,000- (1)(2)	24,000- (2)	6,000-
学生会員 協賛会員	13,000- (1)(2)	2,000- (2)	15,000- (1)(2)	2,000- (2)	6,000-
非会員学生	21,000- (1)(2)	9,000- (2)	24,000- (1)(2)	10,000- (2)	6,000-
資料のみ	-	8,000- (4)	-	8,000- (4)	-

(1) 複数発表の場合、件数分の参加費が必要です。

(2) 参加費には、講習会・ワークショップ・DVD論文集代金が含まれております。

(3) 事前価格は2017年8月28日(月)にお振り込み完了の方に限り適用となります。

※8月28日(月)午後3時以降のお振込みは8月29日(火)のお振込みとなりますのでご注意ください。

詳細は各金融機関へご確認ください。

(4) 後日送付の場合は別途送料が必要となります。

※大阪工業大学在学の学生については、聴講のみ学生会員価格での参加が可能になります。

※Evening Sessionは9/6(水)開催。(会場：リストランテ翔21)

イブニングセッション申込後のキャンセルについては返金はいえませんのでご注意ください。

■申込方法

- ・ URL <https://www.his.gr.jp/sympo/his2017.html> からオンライン申込できます。
- ・ 参加申込書を下記の申込先へ FAX または郵送でお送り下さい。

■参加費の振込先

郵便振替：

口座番号：00940-6-136424

口座名：特定非営利活動法人ヒューマンインタフェース学会

銀行振込：三菱東京UFJ銀行 西七条支店 普通預金

口座番号：3566234

口座名：特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会

■お問合せ先

特定非営利活動法人

ヒューマンインタフェース学会事務局

〒600-8815

京都市下京区中堂寺栗田町93番地

京都市サーチパーク6号館3階

TEL：075-315-8475 FAX：075-326-1332

E-mail：his-symp@his.gr.jp

URL：https://www.his.gr.jp/sympo/his2017.html

Human Interface 2018 TSUKUBA

ヒューマンインタフェースシンポジウム
2018

開催予告

2018年9月5日(水)～7日(金)

筑波大学

●発表形式と内容

一般発表 (発表 15 分 + 討論) (予定)

新しい研究成果の報告や提案など。英語による発表も一般発表として受け付けます。

対話発表

実機や実演を取り込んだ対話形式による発表です。

参加者の投票によるプレゼンテーション賞の表彰を予定しております。

企業展示

ヒューマンインタフェース関連の製品や商品の紹介を歓迎します。

●発表申込

2018年6月18日(月)(予定)までにお申し込み下さい。

申込は申込書を事務局から取り寄せるか、学会ホームページ
(<http://www.his.gr.jp/>) をご覧下さい。

●問合先

特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会事務局

〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93番地

京都リサーチパーク6号館3階

TEL : 075-315-8475 FAX : 075-326-1332

E-mail : his-symp@his.gr.jp

URL : <http://www.his.gr.jp/>